

令和6年度全国学力・学習状況調査結果 田辺市概要

令和6年4月18日に、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、小学6年生・中学3年生を対象とし、国語と算数/数学から構成されています。県及び田辺市教育委員会では、下記の結果を受け、9月校長会及び教頭会で県・市全体の傾向と対策を示し、各小中学校では課題を踏まえた取組を進めています。

◇小学校6年生

▶和歌山県、全国と比較した田辺市の平均正答率（単位：％） 3%以上高い◎ 3%以上低い▼ ほぼ同じ○

	国語	算数
田辺市	69	63
和歌山県	68	64
全国	67.7	63.4

国語	県	全国	算数	県	全国
話すこと・聞くこと	○	○	数と計算	○	○
書くこと	○	○	図形	○	○
読むこと	○	○	変化と関係	○	○
			データの活用	○	○

国語では、正しい漢字を使うことや、主語述語の関係について理解することができていました。一方で、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりすることに課題が見られました。算数では、問題場면을式に表すことや、記述式の問題において、式や言葉を用いて求め方を説明することなどができていました。一方で、直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係についての理解や、速さの意味についての理解に課題が見られました。

多くの小学校が実施している自主学習ノートの浸透や補充学習の徹底した取組、自分の考えや理由を書く活動の充実などが、基礎的な力の定着に繋がっています。

◇中学3年生

▶和歌山県、全国と比較した田辺市の平均正答率（単位：％） 3%以上高い◎ 3%以上低い▼ ほぼ同じ○

	国語	数学
田辺市	54	47
和歌山県	55	50
全国	58.1	52.5

国語	県	全国	数学	県	全国
話すこと・聞くこと	○	▼	数と計算	○	▼
書くこと	○	▼	図形	▼	▼
読むこと	○	▼	関数	▼	▼
			データの活用	○	○

国語では、文脈に即して漢字を正しく書くことや、短歌の表現の技法について理解することなどができていました。一方で、特定の条件（内容・構成・文字数）に合わせて書くことや、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることなどに課題が見られました。数学では、「データの活用」の分野では、比較的正答率が良い傾向にありました。目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明したり、筋道を立てて考え証明するなど、記述問題に課題が見られました。

■学習状況調査の結果から

◇生活習慣・自己肯定感

(単位：％)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
朝食を毎日食べていますか (「食べている」「だいたい食べている」と答えた割合)	90.8	93.7	86.6	91.2
自分には、よいところがあると思いますか (「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	85.3	84.1	86.4	83.3

子供たちのより良い生活習慣づくりや自己肯定感を高めるため、家庭と連携しながら取り組みます。

◇学校生活に関すること

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合) (単位：％)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
困りごとや不安があると時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	70.3	67.1	68.9	67.5

子供たちが安心して、楽しく学校生活を過ごすことができるように、校内の相談体制づくりを行います。

◇学習に対する興味・関心

(「当てはまる」と答えた割合)

(単位：％)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
国語の勉強は好きですか	65.7	62	65.6	64.3
算数(数学)の勉強は好きですか	67.3	61	53.9	57.2
理科の勉強は好きですか	80.6	83.6	68.7	68.3

各校において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が行われています。

今後は、自ら進んで読んだり、書いたりする活動や、話し合い活動に取り組ませる際に相手意識や目的意識、理由や根拠の明確化を意識させた授業づくりを実践していきます。

■今後の取組

- ・田辺市教育委員会では、成果のあった学校の取組を分析し、各学校に周知し、広げていきます。
- ・各学校では、調査の分析結果をもとに学力向上のための研修を行い、自校の取組の点検と改善を行います。
- ・各学校では、ICT機器の効果的な活用や図書館教育の充実等を通して、子供たちの意欲や理解につながる授業づくりや学校環境づくりを目指します。